

入学おめでとう!

学校だより

友

垣

第2号

発行
真和志中学校
中村 斉

学校教育目標

自ら学び

心豊かで

たくましく生きる

生徒の育成

平成二十七年 入学式「式辞」

ようこそ

伝統ある真和志中へ

柔らかな光が降りそそぐ季節、木々が一段と大きく成長し、明るくすがすがしい輝きを感じられるようになりました。

本日、PTA会長 鎮西謙光様、大道、松川、泊、壺屋各小学校の校長先生方をはじめ、多数のご来賓の方々並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、入学式を挙行できますことに厚く御礼申し上げます。八一名の新入生のみならず、そして保護者の皆様、ご入学おめでとうございませう。みなさんの入

学を、在校生、教職員一同心から祝福し、歓迎します。真和志中学校は、一九四八年に当時の真和志村唯一の中学校として開校し、これまで二万五千二百名の卒業生を送り出した歴史と伝統のある中学校です。皆さんの入学に当たり、これからの中学校生活についてお話しします。本校の学校教育目標は、知、徳、体のバランスのとれた生徒を育むことを目指した「自ら学び、心豊かで、たくましく生きる

第68回入学式

《式次第》

- 1 開式のことば
- 2 国歌・校歌斉唱
- 3 入学認定
- 4 学校長式辞
- 5 祝辞
PTA会長
市長メッセジ
- 6 在校生代表
あいさつ
- 7 歓迎の歌
- 8 新入生代表
あいさつ
- 9 保護者代表
あいさつ
- 10 歓迎の演奏
- 11 閉式のことば

生徒の育成です。

一つめの「自ら学ぶ生徒」を目指し、目標を持って各教科の毎時間の授業に臨んでほしいと思います。また、学校の授業のみでなく、その日学習したことを家庭学習で繰り返し復習することで、学習内容が確実に身に付きます。「継続は力なり」を胸に、各教科における知識・技能の確実な習得を目指して下さい。

二つめの「心豊かな生徒」とは、自分も他人も大切にしたい、思いやりの心を持つ生徒のことです。今日の入学式を迎える事ができたのは、ご両親や家族の支えがあつてこそです。そのことに感謝し、

これからの学校生活を過ごしてください。また、小学校でも実践してきた「あいさつ」や「他人への思いやり」「感謝の心」といったことを、自分の言葉で表現できる生徒になって下さい。これを繰り返していき、心豊かな人間へ成長していきます。

三つめの、「たくましく生きる生徒」とは、「自分の体力向上に努め、健康で安全な生活ができる生徒」です。自分の体を自分で管理して、規則正しい

◇家庭へ届けて下さい!

この学校だより「友垣(ともがき)」を発行している目的は、生徒のみなさんが日頃、頑張っている様子や学校の状況を保護者や地域の皆さんに知ってもらうためです。

もちろん、生徒のみなさんにも読んでほしい、他の学年や生徒の様子を知ってもらいたいと思います。読んだ後は必ず家庭まで届けて、家族の皆さんにも読んでもらって下さい。お願いします。

生活を送ること。体育の授業や部活動を通して、体力の向上を目指すこと。この自己管理能力を高めることが、三年間、心も体も健康・安全に過ごすことに繋がります。

このように皆さんが知、徳、体のバランスがとれた生徒に育ち自分を誇れるように、また、真和志中学校に誇りを持ち、学校へ行くのが楽しいと思えるように、教職員一同、心を込めて皆さんを指導・支援していきます。共にがんばりましょう。

さて、保護者の皆様には、中学校の制服に身を包んだお子様の大きく成長した姿に、喜びもひとしおかと存じます。私たち真和志中教職員は、一人ひとりが充実した学校生活を送ることができるよう指導、支援して参ります。

まず、学校をあげて努力して参りますが、一方で保護者の皆様のご理解、ご協力が欠かせません。ご家庭と学校の双方がその役割を認識しながら、互いの考えを理解し、連携し歩んでいきたいと考えております。本校の教育活動に特段のご理解とお力添えをお願いします。結びになります。ご来賓の皆様方には、公私ともご多用の折、本校入学式にご臨席下さり、ありがとうございます。今後とも変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げます。

新入生の皆さん、ご家族の皆様、ご来賓の皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げ、式辞と致します。

